

薬物乱用防止委員会方針

薬物乱用防止委員長 佐々木 一 恵

皆様もご存じの通り、薬物乱用は、乱用者の心身の健康を害することにより人生そのものを台無しにしてしまいます。さらには、家族をはじめ身近な人だけではなく、他人の人生までも台無しにする可能性があります。

今、青少年を取り巻く環境は急激に大きく変化しており、青少年の成長の過程には多くの「未知の課題」が発生しています。特に薬物乱用においては、IT環境の変化やインバウンドの増加に伴った外国人による薬物の流入により、若い世代が携帯電話やSNS等を利用し、簡単に有害な薬物にアクセスできる状況になっています。その結果、薬物乱用の機会の低年齢化、広範化につながっています。

このような中、335-B地区においては未来を担う子供たちに「薬物乱用の怖さ」という情報を的確に届け、薬物乱用を回避する力を確実に備える手法を伝授して、次世代を担う青少年に明るい未来を切り開いていく力を備えてもらう必要があります。

当委員会においては、地区内のクラブによる「薬物乱用防止教室」の開催を支援することが最大・唯一の使命となっております。そのために今期、「薬物乱用から子供たちを守ろう!」を合言葉とし、①薬物乱用防止教育認定講師の増強と②各地域の薬物乱用防止教室・啓発活動の実施を支援してまいります。

主な事業

◎薬物乱用防止教育認定講師養成講座

ライオンズメンバーが小中学生を対象とした薬物乱用防止教室を開催する際に、ボランティアとして活動できる講師を養成する薬物乱用防止教育認定講師養成講座を開催いたします。対象はライオンズメンバー正会員をはじめ、特にクラブ支部会員、家族会員を含めて実施していきたいと思います。新規取得は言わずもがな、3年ごとの更新、さらに、ゴールド認定講師の取得率の向上を目指します。養成講座の実施時期は2024年12月を予定しています。

◎薬物乱用防止教室・薬物乱用防止啓発活動の実施支援

ライオンズクラブでは、上述の認定講師養成講座を受講することにより、薬物乱用にかかわる基本的な内容を理解したメンバーが講師となりますが、世の中を生き抜いてきた経験豊富な人材がそろっています。ライオンズクラブによる薬物乱用防止教室や薬物乱用防止啓発活動は、警察関係者や薬剤師などの各種専門家ではない地域の大人が子供の目線に立って人生の先輩として薬物乱用から身を守る方法を伝える活動です。

各クラブが活動するための例会訪問による説明、地域のコミュニティとの連携を支援してまいります。